

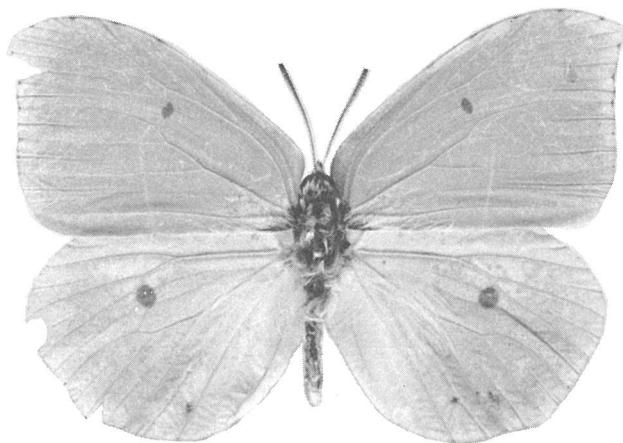
No. 54 pp. 958-989

31 - III - 1989

寄せ蛾記

埼玉昆虫談話会

YOSEGAKI : Saitama Kontyū Danwakai



表紙の昆蟲

ヤマキチョウ *Gonepteryx rhamni* LINNAEUS ♂

1979-VI-3 埼玉県秩父郡大滝村入川
碓井徹 採集／撮影

本誌27号で紹介した、埼玉県では数少ない採集個体のひとつ。この個体以外では、発表されたものとしては、大血川で得られた1頭しか知られていない。しかし、大滝村中津川で、春に多数の越冬個体が得られたというウワサも聞く。

.....

埼玉県産クロツバメシジミの斑紋について

木通 田 光

.....

クロツバメシジミは本州西半部、九州北部、壱岐、対馬等に分布する蝶であるが、殆どの発生地がツメレンゲ等の生える露岩地に限られる為、その生息地は非常に局所的である。こうした分布の背景があるが、本種の斑紋は各地で変異に富み、一部の愛好者の間では密かなブームを呼んでいるのであるが、残念ながら各図鑑類の本種に対する扱いは甚だ不十分である。ゴマシジミやベニヒカゲとまではいかなくても良いから、もう少し各地域ごとの標本をまとめて並べてもらいたいものであるが、現在では、本種を全国的な規模で精密に比較検討した文献は見当たらない。

その中で、『藤岡知夫（1981）改訂増補日本産蝶類大図鑑、講談社』は、日本産の本種を大きな2つのグループにわけ、九州北部、壱岐、対馬、下関周辺の原名亜種に対し、広島以東の本州、四国に分布するものを亜種 *ssp. japonica* として新たに記載している。しかし、亜種 *japonioca* 内にも細かい変異が認められ、筆者は本種の分布圏の最も東端にあたる埼玉県産の本種について、いくつかの斑紋の特徴をとらえることが出来たので、以下に述べてみたいと思う。

まず、表面は前後翅とも一様に黒褐色で、後翅の青色斑はあまり発達しない。これは亜種 *japonica* に共通する特徴で、新鮮な標本ならば、この点だけで原名亜種との区別ができるが、低温下で飼育すると青色斑の発達した個体が羽化することがある。

つぎに、裏面であるが、図1に示したようにA B C D の4部分にわけて、それぞれ解説してみよう。

Aの黒点は埼玉県産ではあまり発達せず、すぐ内側に並ぶ黒点とほぼ同じかそれ以下で、色も中央の黒点列より淡い。一方、瀬戸内海を中心に中国、四国、紀伊半島に分布するグループ（以下、関西グループ）では大きく発達し、内側の黒点を圧倒する。しかし、この特徴は新鮮な個体でないと比較することは難しい。

つぎに、Bの部分では、図2の拡大図を見ていただこう。ここでは前翅裏面の中央黒点列の並び方を示してある。

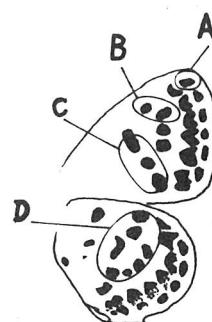


図. 1

左が埼玉県産のモデル、右が関西グループのモデルである。先に述べたように関西でも、各地域による微細な変異がかなりみられるので、一概にこのモデルが一般的とはいえかねるが、今回は関西グループ分布圏のほぼ中心に近い岡山県和気郡和気町産をモデルとして選んだ。

さて、Bで注目すべきは埼玉県産の個体の斑紋aがb c dの作るライン○よりもかなり内側にはずれるということで、関西グループでは極端にはずれる事はなく、ゆるい円弧を描く程度である。この特徴は埼玉県産に限ることなく長野、山梨県産のものも同様に現れる。

さらにCの部分では、中室端の斑紋eとgとの作るラインPに、斑紋fが割り込むような形で直線状になり、関西グループのように中央黒点列に対し、中室斑eが独立して存在するように見える。長野、山梨県産のものでも、このように3つの斑紋が直線状になる個体が少なからず現れ、特に山梨県産の個体では埼玉県産と見分けがつかないものが多い。

一方、後翅の斑紋に目を転じてみると、よくヤマトシジミとシルビアシジミとの区別点として使用される斑紋h, iの位置が、関西グループではヤマトシジミのように外縁にそって湾曲して円弧状をなし、h, iの作る直線Qがjもしくはkを通過し、それより内側のlに達するものは極めて少ない。

しかし、埼玉県産の個体では、直線Qが殆ど斑紋mを通過、もしくはかすり、なかにはn紋にさえ達するものもある。長野県梓橋附近のものはQがl紋を通過するものが大多数を占め、この点で埼玉県産のものと明確な差異がみいだされる。しかし、山梨県産の個体では埼玉県産とほとんど区別できない。

以上が、筆者の気のついた埼玉県産の変異に関するいくつかの特徴点であるが、如何為、被検標本の数があまりに少なく（秩父市産4♂5♀、吉田町産6♂3♀）、今後は各産地共標本数を増やし、充分な検討を加えることが急務とされる。いずれにせよ埼玉県産の本種は、その生息環境からも多数の標本を確保することが困難なため、談話会の同志の協力が必要であり、甚だ僭越ではあるがこの場をかりて御協力を要請したい。

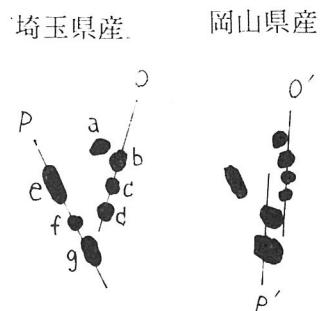


図. 2
前翅裏面の斑紋変異モデル

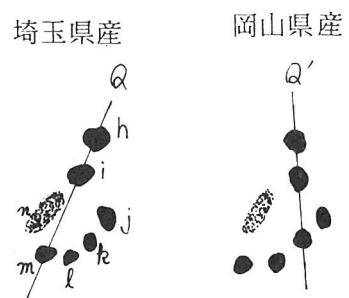


図. 3
後翅裏面の斑紋変異モデル

最後にこの原稿を作るにあたり、貴重な標本を恵与していただいた神久保美津夫氏、重要な文献を恵送いただいた碓井徹氏、そして猪又敏男氏に感謝申し上げる次第である。

【参考文献】

『藤岡知夫(1981) 改訂増補日本産蝶類大図鑑 講談社』

『SPINDA nouv.3』 京都大学蝶類研究会

(ひだ ひかる 〒135 江東区清澄 3-5-11)

冬のムラサキシジミ

利根川 雅実

12月に越生町と寄居町でムラサキシジミを採集したので報告する。

越生町では、11日(日)午前10時頃、小堀文彦氏が発見した。雑木林から飛び出し、草地に止まったものを採集した。

寄居町では、31日(土)午前11時頃、息子の雄也が雑木林の中で発見した。鐘撞堂山への登山道の日だまりに止まったものを採集した。その他にも3頭目撃した。

〔採集データ〕

1♂ 越生町日向 1988-XII-11, 吉越肇 採集

1♂ 寄居町円良田湖 1988-XII-31, 利根川雅実 採集

(とねがわ まさみ 画336 浦和市三室1218-3-807)

 訂正

- ◎ 寄せ蛾記53号 p.953 利根川 雅実『浦和でゴマフリドクガを採集』
1行目、(誤) 埼玉県初記録の ⇒ (正) 埼玉県では珍しい暖地性の
(本種は、北本市石戸宿での記録が県内初記録。寄せ蛾記(48):733)
- ◎ 寄せ蛾記53号 p.954 利根川 雅実『コカブトムシが高層住宅の灯火に飛来』 5行目、(誤) 1♂ ⇒ (正) 1♀

◆ 2つの訂正とも、編集子のミスです。利根川さんにはご迷惑をおかけしました。

.....

浦和市の見沼たんぼにおける蝶

巣瀬 司

.....

筆者は1986年5月より浦和市の見沼たんぼにおいて、簡単な「蝶を材料とした自然度調査」を行っている。1986年11月にはその成果を発表したが（巣瀬，1986）、そこでは紙面の都合もあり、具体的な採集データを記述することができなかった。普通種ばかりのデータであるが、以下の記録は特定の区域内での2年間の全採集データであり、この地域の蝶の種間の相対的頻度を示すものである。なお、比較的採集例の少ない種については、調査区域外の「浦和市内の見沼たんぼ」における採集例を含めた。本文に入るにさきだち、本調査に協力していただいた浦和学院高校科学部の諸君に謝意を表する。

【調査地および方法】

調査は図1の斜線部で示した6つの調査区で、1986年5月から1988年4月まで、毎月1回～2回行った。A, B, D, Eの調査区は浦和市五斗蒔、調査区C, Fは浦和市明神下である。6つの調査区の面積はそれぞれ800m²であり、調査はそれぞれの調査区で10分間、捕虫網で蝶を捕らえ、種名、雌雄、汚損度を記録した後、捕らえた蝶を放す、という方法で行った。ただ、アゲハチョウ科の蝶については、目撃しただけの個体もデータに含めた。

【目録の作成について】

新鮮度を確認した個体については、新鮮は○、汚損は●、両者の中間は◎で示した。雌雄が確認できなかった個体については、()内に個体数だけを記した。

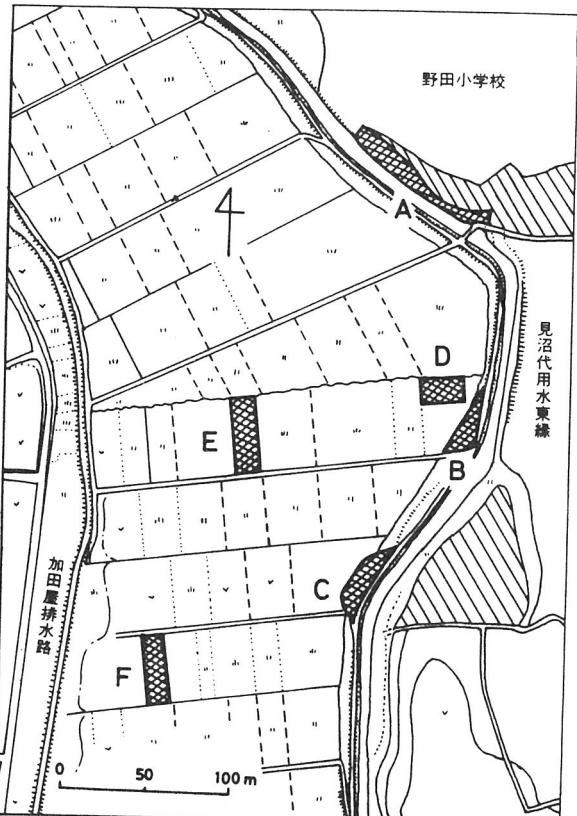


図1. 「見沼たんぼ」に設定した調査区(網線部)。斜線部は林

1. ジャコウアゲハ
1♀ 19-V-'86 緋切橋.
2. アオスジアゲハ
(1) 23-V-'86 五斗蒔, (1) 9-VII-'87 五斗蒔, (1) 17-VII-'87 五斗蒔.
3. アゲハ
1♂● 22-V-'86 五斗蒔, 1♂ 5-IX-'87 五斗蒔.
4. キアゲハ
1♀● 31-VII-'86 五斗蒔, 1♂○ 6-IX-'86 五斗蒔, (1) 27-VI-'87 明神下.
5. クロアゲハ
1♂ 9-V-'87 明神下.
6. カラスアゲハ
1♀○ 10-V-'86 五斗蒔, 1♂○ 31-VII-'86 五斗蒔.
7. モンキチョウ
1♀○ 6-IX-'86 五斗蒔, 1♂○ 22-V-'86 明神下, 1♂○ 25-IV-'87 五斗蒔,
1♂ 25-IV-'87 明神下, 1♂○ 9-V-'87 明神下, 1♂ 30-V-'87 五斗蒔,
1♂● 13-VI-'87 明神下, 1♂● 27-VI-'87 五斗蒔, 1♂○ 3-VIII-'87 五斗蒔.
8. キチョウ
1♀○ 31-VII-'86 五斗蒔, 1♂○ 25-VIII-'86 五斗蒔, 1♂○ 6-IX-'86 五斗蒔,
1♀○ 20-IX-'86 五斗蒔, 1♂○ 18-X-'86 五斗蒔, 1♀○ 5-IX-'87 五斗蒔.
9. モンシロチョウ
2♂○ 10-V-'86 五斗蒔, 2♂○ 16-VI-'86 五斗蒔, 1♀○ 1♂○ 28-VI-'86
五斗蒔, 3♂○～● 28-VI-'86 明神下, 2♀○ 1♂○ 6♂○ 14-VII-'86 明神下,
1♂○ 14-VII-'86 明神下, 1♀○ 1♂○ 31-VII-'86 五斗蒔, 1♂● 31-VII-'86 明神下,
1♂○ 11-VIII-'86 五斗蒔, 1♂ 25-VIII-'86 五斗蒔, 1♂○ 25-VIII-'86 明神下,
1♀○ 1♂○ 6-IX-'86 五斗蒔, 1♀○ 6-IX-'86 明神下, 1♂○ 20-IX-'86 五斗蒔,
1♂● 4-X-'86 五斗蒔, 1♀○ 2♂○ 18-X-'86 五斗蒔, 1♀○ 5♂○～○ 18-X-'86
明神下, 1♂● 25-IV-'87 明神下, 1♂ 9-V-'87 明神下, 1♀○ 4♂○～○ 30-V-'87
五斗蒔, 5♂○ 13-VI-'87 明神下, 2♂○ 13-VI-'87 五斗蒔,
1♂○ 13-VI-'87 明神下, 3♂○～○ 27-VI-'87 五斗蒔, 1♂○ 27-VI-'87 明神下,
2♂● 11-VIII-'87 五斗蒔, 3♂○～● 11-VIII-'87 明神下, 1♀○ 1♂○ 29-X-'87
五斗蒔, 3♂○～○ 29-X-'87 明神下.
10. スジグロシロチョウ
1♂○ 16-VI-'86 五斗蒔, 1♂○ 31-VII-'86 五斗蒔, 1♂○ 25-VIII-'86 五斗蒔,
1♂○ 6-IX-'86 五斗蒔, 1♂○ 20-IX-'86 五斗蒔, 1♀○ 4-X-'86 五斗蒔, 1♀○
13-VI-'87 五斗蒔, 2♂○ 13-VI-'87 明神下.
11. ツマキチョウ
1♀○ 10-V-'86 五斗蒔, 1♂○ 11-IV-'87 五斗蒔.
12. ヒメウラナミジャノメ
1♂○ 10-V-'86 明神下, 4♀○～○ 22-V-'86 五斗蒔, 3♀○ 3♂○～● 22-V-'86
明神下, 1♂● 16-VI-'86 明神下, 1♀● 28-VI-'86 五斗蒔, 1♀○ 2♂○ 31-VII-'86
五斗蒔, 2♂○～● 31-VII-'86 明神下, 1♂○ 11-VIII-'86 五斗蒔, 1♂○ 6-IX-'86
五斗蒔, 1♂○ 6-IX-'86 明神下, 1♂○ 20-IX-'86 五斗蒔, 2♀● 20-IX

-'86 明神下, 1♀① 5♂① 9-V-'87 五斗蒔, 3♂② 30-V-'87 五斗蒔, 1♂● 30-V-'87 明神下, 1♀● 1♂① 3-VII-'87 五斗蒔, 1♀① 5-IX-'87 五斗蒔, 1♀● 19-IX-'87 明神下.

13. ヒメジャノメ

5♂①～● 16-VI-'86 五斗蒔, 2♂②● 16-VI-'86 明神下, 1♀② 28-VI-'86 五斗蒔, 1♂② 28-VI-'86 明神下, 4♂③● 11-VII-'86 五斗蒔, 1♀① 5♂①～● 6-IX-'86 五斗蒔, 2♀①② 6-IX-'86 明神下, 9♀①～● 11♂①～● 20-IX-'86 五斗蒔, 4♀①～● 3♂②～● 20-IX-'86 明神下, 2♀● 3♂③● 4-X-'86 五斗蒔, 1♂②③ 4-X-'86 明神下, 1♂● 18-X-'86 五斗蒔, 1♂① 30-V-'87 五斗蒔, 3♂● 13-VI-'87 五斗蒔, 2♀①② 3-VII-'87 五斗蒔, 1♀ 1♂ 5-IX-'87 五斗蒔, 2♀②● 1♂● 19-X-'87 五斗蒔, 1♀● 1♂● 19-X-'87 明神下.

14. ヒカゲチョウ

7♂①～● 6-IX-'86 五斗蒔, 1♀● 20-IX-'86 五斗蒔.

15. サトキマダラヒカゲ

1♀② 28-VI-'86 五斗蒔, 1♀① 11-VII-'86 五斗蒔, 2♀①● 25-VII-'86 五斗蒔, 2♀● 1♂● 6-IX-'86 五斗蒔, 2♀● 30-V-'87 五斗蒔, 2♀● 5-IX-'87 五斗蒔, 1♀● 19-IX-'87 五斗蒔.

16. ゴマダラチョウ

2♂② 11-VII-'86 五斗蒔, 1♂● 25-VII-'86 五斗蒔, (1) 19-V-'87 国昌寺下, 1♀② 3-VII-'87 五斗蒔.

17. コミスジ

1♀② 31-VII-'86 五斗蒔, 1♀② 25-VII-'86 五斗蒔, 1♀① 30-V-'87 五斗蒔.

18. キタテハ

(1)● 10-V-'86 五斗蒔, (1)● 23-V-'86 五斗蒔, (1)① 16-VI-'86 五斗蒔, (1)② 14-VII-'86 五斗蒔, (1)② 14-VII-'86 明神下, (2)① 31-VII-'86 五斗蒔, (1)● 31-VII-'86 明神下, (9)①～● 11-VII-'86 五斗蒔, (1)② 11-VII-'86 明神下, (6)①～● 25-VII-'86 五斗蒔, (3)①～② 25-VII-'86 明神下, (8)①～● 6-IX-'86 五斗蒔, (2)②● 20-IX-'86 五斗蒔, (1)① 4-X-'86 五斗蒔, (1) 4-X-'86 明神下, (5)① (1)● 18-X-'86 五斗蒔, (7)① 18-X-'86 明神下, (2) 30-III-'87 明神下, (1)● 25-IV-'87 明神下, (3)● 9-V-'87 五斗蒔, (3)①～● 30-V-'87 五斗蒔, (1)① 30-V-'87 明神下, (1) 13-VI-'87 五斗蒔, (1) 27-VI-'87 五斗蒔, (1) 11-VII-'87 明神下, (1)① 3-VII-'87 明神下, (5)②～● 17-VII-'87 五斗蒔, (1)① 5-IX-'87 五斗蒔, (2)① (1)● 19-IX-'87 五斗蒔, (2)① 19-IX-'87 明神下, (1) 29-X-'87 明神下, (1)● 16-IV-'88 五斗蒔, (1)● 16-IV-'88 明神下.

19. アカタテハ

1♀② 14-VII-'87 五斗蒔, (1) 17-VII-'87 五斗蒔.

20. ヒメアカタテハ

1♀① 2-VII-'87 五斗蒔.

21. ヒオドシチョウ

(2)① 5-VI-'87 五斗蒔.

22. ルリタテハ

1♂① 4-VII-'87 代山, (1) 17-VII-'87 五斗蒔.

23. アカシジミ
(1) 30-V-'87 鶯神社.
24. ゴイシシジミ
1♀◎ 3♂◎ 25-VII-'86 五斗蒔, 1♂◎ 20-IX-'86 五斗蒔, 1♀○ 30-V-'87 五斗蒔,
1♀○ 27-VI-'87 五斗蒔, 1♂◎ 5-IX-'87 五斗蒔.
25. ベニシジミ
1♀◎ 2♂○ 10-V-'86 五斗蒔, 1♀○ 10-V-'86 明神下, 3♀○～● 22-V-'86
五斗蒔, 3♀○ 6♂○～◎ 28-VI-'86 五斗蒔, 2♂○ 14-VII-'86 五斗蒔,
2♀○ 1♂○ 14-VII-'86 明神下, 2♀○ 31-VII-'86 五斗蒔, 1♂○ 31-VII-'86 明神下,
1♂○ 25-VIII-'86 五斗蒔, 1♀○ 1♂● 4-X-'86 五斗蒔, 1♀○ 1♂○ 18-X-'86
五斗蒔, 1♀○ 1♂○ 25-IV-'87 五斗蒔, 1♀○ 3♂○～◎ 9-V-'87 五斗蒔, 1♂●
9-V-'87 明神下, 3♀○ 4♂○～◎ 13-VI-'87 五斗蒔, 2♀○ 13-VI-'87 明神下,
2♂○ 27-VI-'87 五斗蒔, 1♀○ 2♂○ 27-VI-'87 明神下, 2♀○ 11-VII-'87
五斗蒔, 1♀○ 3-VII-'87 五斗蒔, 1♀○ 3-VII-'87 明神下, 1♀○ 17-VII-'87
明神下, 1♀○ 29-X-'87 明神下, 1♂○ 16-IV-'88 五斗蒔.
26. ヤマトシジミ
1♂○ 10-V-'86 明神下, 3♀○～◎ 4♂○～◎ 22-V-'86 五斗蒔, 1♀○ 28-VI-'86
五斗蒔, 1♂○ 14-VII-'86 五斗蒔, 1♂● 14-VII-'86 明神下, 1♀○ 4♂○～◎
11-VIII-'86 五斗蒔, 2♂○ 11-VIII-'86 明神下, 1♀○ 5♂○～◎ 25-VIII-'86 五斗蒔,
3♂○ 25-VIII-'86 明神下, 2♀○ 2♂○ 6-IX-'86 五斗蒔, 1♀○ 6-IX-'86 明神下,
2♀○ 1● 4♂○～◎ 20-IX-'86 五斗蒔, 2♀○● 11♂○～◎ 20-IX-'86 明神下, 3♀○
～◎ 13♂○～● 4-X-'86 五斗蒔, 4♀○～● 7♂○～● 4-X-'86 明神下, 5♀○～
● 15♂○～● 18-X-'86 五斗蒔, 1♀● 3♂○～● 18-X-'86 明神下, 1♂○ 15-XI-'86
五斗蒔, 4♂○～● 9-V-'87 五斗蒔, 9-V-'87 明神下, 1♂○ 30-V-'87
明神下, 1♀○ 27-VI-'87 五斗蒔, 2♀○ 3♂○ 27-VI-'87 明神下, 1♂● 11-VII-'87
五斗蒔, 3♀○ 11-VII-'87 明神下, 8♀○～◎ 14♂○～◎ 3-VIII-'87 五斗蒔,
4♀○～◎ 30♂○～◎ 3-VIII-'87 明神下, 1♀○ 1♂○ 17-VII-'87 五斗蒔, 7♀○～●
9♂○～● 5-IX-'87 五斗蒔, 5♀○～● 3♂○～◎ 5-IX-'87 明神下, 3♀○～◎ 6♂
○～◎ 19-IX-'87 五斗蒔, 3♀○ 5♂○～● 19-IX-'87 明神下, 2♀○ 11♂○～●
29-X-'87 五斗蒔, 8♂○～◎ 29-X-'87 明神下.
27. ルリシジミ
1♀○ 31-VII-'86 五斗蒔, 1♂○ 6-IX-'86 五斗蒔.
28. ツバメシジミ
1♀○ 10-V-'86 五斗蒔, 2♂○ 10-V-'86 明神下, 2♂ 22-V-'86 五斗蒔,
1♀○ 28-VI-'86 五斗蒔, 2♂○ 28-VI-'86 明神下, 1♂● 14-VII-'86 明神下,
1♀● 1♂○ 25-VIII-'86 明神下, 1♀○ 6♂○～● 6-IX-'86 五斗蒔, 1♂○ 6-IX-'86
明神下, 7♂○～● 20-IX-'86 五斗蒔, 3♀○ 4♂○～● 20-IX-'86 明神下,
1♂● 4-X-'86 明神下, 1♂● 18-X-'86 明神下, 1♀○ 4♂○～● 25-IV-'87
五斗蒔, 2♀○● 1♂○ 9-V-'87 五斗蒔, 3♂○ 9-V-'87 明神下, 1♂○ 13-VI-'87
五斗蒔, 3♂○ 13-VI-'87 明神下, 3♂○ 27-VI-'87 五斗蒔, 1♂○ 27-VI-'87
明神下, 1♀● 1♂○ 3-VIII-'87 五斗蒔, 1♂○ 3-VIII-'87 明神下, 1♂● 17-VII-'87
五斗蒔, 1♀○ 1♂○ 17-VII-'87 明神下, 1♂○ 5-IX-'87 五斗蒔, 3♂○ 5-IX-'87
明神下, 3♂○～● 19-IX-'87 五斗蒔, 3♀○～● 5♂○～● 19-IX-'87 明神下,
1♂○ 16-IV-'88 五斗蒔.

29. ウラナミシジミ
(1) 9-X-'86 緒切橋, 1♂① 18-X-'86 五斗蒔, 1♂② 29-X-'87 五斗蒔.
30. ウラギンシジミ
1♂① 30-VII-'86 代山, 2♀②● 6-IX-'86 五斗蒔, 1♀① 5-VI-'87 代山, 1♀① 8-VI-'87 五斗蒔, 1♀ 10-VIII-'87 五斗蒔, 1♀ 5-IX-'87 五斗蒔.
31. ダイミョウセセリ
1♂① 10-V-'86 五斗蒔, 1♂② 22-V-'86 五斗蒔, 1♂② 6-IX-'86 五斗蒔.
32. ギンイチモンジセセリ
1♀① 10-V-'86 五斗蒔, 1♂② 22-V-'86 五斗蒔, 1♀② 23-V-'86 五斗蒔,
1♂ 14-VII-'87 五斗蒔, (1) 19-VIII-'87 国昌寺下.
33. キマダラセセリ
1♂① 21-VI-'87 鶯神社.
34. コチャバネセセリ
2♂① 10-V-'86 五斗蒔.
35. オオチャバネセセリ
1♂① 28-VI-'86 五斗蒔, 2♂①● 14-VII-'86 五斗蒔, 1♂② 14-VII-'86 明神下,
1♀● 31-VII-'86 五斗蒔, 2♂① 6-IX-'86 五斗蒔, 1♂① 6-IX-'86 明神下, 1♂①
20-IX-'86 五斗蒔, 1♀● 4-X-'86 五斗蒔, 1♂② 4-X-'86 明神下, 1♀● 18-
X-'86 五斗蒔, 1♀① 3♂① 27-VI-'87 五斗蒔.
36. ミヤマチャバネセセリ
1♂① 28-VIII-'87 五斗蒔.
37. チャバネセセリ
1♂② 19-IX-'87 明神下.
38. イチモンジセセリ
1♂① 14-VII-'86 明神下, 1♀① 4♂① 31-VII-'86 五斗蒔, 2♂② 11-VIII-'86 五斗蒔,
1♂① 6-IX-'86 五斗蒔, 1♂① 6-IX-'86 明神下, 2♂①② 20-IX-'86 五斗蒔,
3♀①~② 20-IX-'86 明神下, 3♀①~● 2♂②● 4-X-'86 五斗蒔, 1♀● 2♂②● 4-X
'86 明神下, 3♂②● 18-X-'86 明神下, 2♀● 11-VII-'87 五斗蒔, 1♂● 3-VIII-'87
五斗蒔, 1♂② 17-VIII-'87 五斗蒔, 2♂① 5-IX-'87 五斗蒔, 1♂② 5-IX-'87
明神下, 1♂② 19-IX-'87 五斗蒔, 4♀②~● 1♂②● 19-IX-'87 明神下, 1♀● 29-
X-'87 明神下.

〔引用文献〕

巣瀬 司, 1986. 蝶相から見た見沼たんぼの自然度.

イグレッタ(シラサギ記念博物館), (1): 4-6.

1989年3月

寄せ蛾記54号

.....

所沢市三ヶ島産膜翅類

牧林功

.....

埼玉昆虫談話会ではかつて所沢市三ヶ島の昆虫の調査を行った。その折り、採集したもので「所沢市三ヶ島の昆虫類調査報告（1984）」の掲載に間に合わなかったもののうち、同定のついた膜翅類について報告する。尚、種の同定は南部敏明氏にお願いした。そのことを記し、厚く御礼申し上げる。

また、採集目録には南部敏明氏が同地で採集し、「Memezu」に発表されたものも併記した。この記録については、「南部」と記して区別した。

アシプトコバチ科 Chalcidiidae

1. キアシプトコバチ *Brachymeria obscurata* Walker

1♂ 22-VI-1983 南部.

アリ科 Formicidae

2. クロオオアリ *Camponotus japonicus* Mayr

1♀ 22-VI-1983 南部.

3. ヨツボシオオアリ *C. quadrinotatus* Forel

6♀ 22-VI-1983 南部.

4. クロクサアリ *Lasius fulginosus* (Latreille)

4♀ 26-VI-1983 南部.

ベッコウバチ科 Pompilidae

5. オオモンクロベッコウ *Anoplius samariensis* Pallas

2♀ 19-VII-1983

6. フタモンベッコウ *Parabatozonus hakodadi* Dalla Torré

1♂ 19-VII-1983

7. トゲアシオオベッコウ *Priocnemis irritabilis* Smith

1♀ 14-IV-1983

ドロバチ科 Eumenidae

8. オオフタオビドロバチ *Anterhynchium flavomarginatum mikado* Kirsch

1♀ 22-VI-1983 南部.

9. スズバチ *Eumenes decoratus* Smith

2♀ 4-IX-1983

10. ミカドトックリバチ *E.micado* Cameron

1♀ 19-VII-1983 1♀ 4-IX-1983

スズメバチ科 Vespidae

11. キイロスズメバチ *Vespa simillima xanthoptera* Cameron

1♀ 22-VI-1983 南部.

12. クロスズメバチ *Vespula flaviceps lewisii* (Cameron)

3♀ 22-VI-1983 南部.

13. フタモンアシナガバチ *Polistes chinensis antennalis* Pérez

1♀ 5-VII-1983 1♀ 19-VII-1983

14. コアシナガバチ *P. snelleni* Saussure

1♀ 19-VII-1983

15. ムモンホソアシナガバチ *Parapolybia indica* (Saussure)

2♀ 19-VII-1983 1♀ 5-VI-1983

アナバチ科 Sphecidae

16. ヤマジガバチ *Ammophila sabulosa infesta* Smith

1♀ 19-VII-1983

17. サトジガバチ *A. sabulosa nipponica* Tsuneki

1♂ 17-VII-1983

18. クロケラトリバチ *Larra carbonaria erebus* (Smith)

1♀ 19-VII-1983

浦和市、鴻巣市、寄居町から記録がある（南部、1978）が、比較的珍しい種。

19. ヒメコオロギバチ *Liris docilis* (Smith)

1♀ 22-VI-1983 南部.

20. トゲジガバチモドキ *Trypoxyton pulawskii* Tsuneki
2♀ 1♂ 22-VI-1983 南部.

21. マダラジガバチモドキ *T. varipes* Pérez
1♀ 3♂ 22-VI-1983 南部.

22. ケンジガバチモドキ *T. clavicerum exiguum* Tsuneki
3♀ 2♂ 22-VI-1983 南部.

23. ツチスガリ *Cerceris hortivaga* Kohl
1♀ 22-VI-1983 南部.

ヒメハナバチ科 Andrenidae

24. アブラナノヒメハナバチ *Andrena brassicae* Hirashima
1♀ 14-IV-1984

ミツバチ科 Apidae

25. ヨーロッパミツバチ *Apis mellifera* Linné
2♀ 19-VII-1983

コハナバチ科 Halictidae

26. アカガネコハナバチ *Halictus aerarius* Smith
1♀ 22-VI-1983 南部.

【参考文献】

南部敏明(1978)埼玉県の蜂, 埼玉県動物誌, 埼玉県教育委員会.

南部敏明(1984)分布資料(1983),
Memezu No.8, pp.53~70 (埼玉県立越生高等学校理科部生物科)

(まきばやし いさお 〒330 大宮市天沼町2-864)

· · · · · · · · · · · ·

八重山列島の蛾 31種の採集記録

市川 和夫

· · · · · · · · · · · ·

埼玉昆虫談話会の川名美佐男、小堀文彦、南部敏明、原聖樹、星野正博、松本和馬、山崎正則の諸氏から提供を受けた琉球諸島の蛾類のうち、石垣島・西表島および与那国島産の31種を報告する。これらのうち、西表島の1種と与那国島の6種はそれぞれの島での初記録と思われる。

標品はすべて筆者が保管しているが、ギンネムエダシャク等の同定については井上寛先生より文献をいただき御教示を受けた。井上先生および採集品を恵与された諸氏に感謝申し上げる。

【採集品目録】

PSYCHIDAE ミノガ科

- 1 *Eumeta japonica* (HEYLAERTS) オオミノガ
1♂, 西表島 上原, 23. VII. 1978 (南部敏明).

ZYGAENIDAE マダラガ科

- 1 *Histia flabellicornis* (FABRICIUS) クロツバメ
1♀, 石垣島 米原, 6. III. 1979 (松本和馬).
1♀, 西表島 仲間川林道, 30. III. 1986 (星野正博).

THYRIDIDAE マドガ科

- 1 *Canaea ryukyuensis* INOUE ウンモンマドガ
1♀, 与那国島 比川, 27. VII. 1986 (南部敏明).
2 *Banisia owadai* INOUE シロテンマドガ
1♀, 西表島 宇奈利崎, 29. III. 1986 (星野正博).

PYRALIDAE メイガ科

- 1 *Cirrhochrista brizoalis* (WALKER) モンキシロノメイガ
1♂, 与那国島 祖内, 27. VII. 1986 (川名美佐男).
2 *Euglyphis proopia* (STOLL) ハグルマノメイガ
1♀ 1♂, 西表島, 5. VII. 1986 (川名美佐男).
3 ♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
3 *Hyalobathra illectalis* (WALKER) チヤバネトガリノメイガ
1♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
4 *Locasta muscosalis* (WALKER) トサカフトメイガ
1♀ 2♂, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
5 *Conobathra tricolorella* INOUE フタテンアカオヒマダラメイガ
1♀, 西表島, 5. VII. 1986 (川名美佐男).

GEOMETRIDAE シヤクガ科

- 1 *Eumelea biflavata* WARREN オビベニホシシャク
1♀, 西表島 大原, 19. VII. 1978 (南部敏明) .
- 2 *Pingasa ruginaria* (GUENÉE) タイワンアヤシャク
1♂, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男) .
- 3 *Antitrygodes divisaria* (WALKER) ミドリヒメシャク
1♀, 与那国島 祖内, 27. VII. 1986 (川名美佐男) : 同島初記録である.
- 4 *Chiasmia vagabunda* INOUE キンネムエダシャク (TINEA 12: 65~69, fig. 24 参照)
2♀, 与那国島, 27. VII. 1986 (川名美佐男) : 同島初記録である.
- 5 *Milionia basalis* WALKER キオビエダシャク
1♀, 西表島 大原, 26. III. 1987 (原 聖樹) .
2♀, 西表島 カンヒラ滝, 23. VII. 1978 (南部敏明) .
- 6 *Krananda semihyalina* MOORE スカシエダシャク
1♂, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男)
- 7 *Cleora injectaria* (WALKER) リュウキュウフトスジエダシャク
1♂, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男) : 前・後シとも横脈環は大きな黒紋となつた個体である.

SATURNIIDAE ヤママユガ科

- 1 *Samia cynthia* (DRURY) シンジュサン
2♂, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男) .

SPHINGIDAE スズメガ科

- 1 *Psilogramma increta* (WALKER) シモフリスズメ
1♂, 西表島 船津, 5. VII. 1986 (川名美佐男) .
1♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男) .
1♂, 石垣島 川平, 9. VII. 1986 (川名美佐男) .
1♀, 西表島 船津, 30. VII. 1986 (山崎正則) .
- 2 *Parum colligata* (WALKER) キンボシスズメ
2♀, 西表島 宇奈利崎, 30. III. 1986 (星野正博) : 同島初記録である.
- 3 *Macroglossum corythus* WALKER オキナワクロホウシャク
1♀, 与那国島, 26. VII. 1986 (川名美佐男) .
1♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男) .
- 4 *Theretra nessus* (DRURY) キイロスズメ
1♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男) .
- 5 *T. clotho* (DRURY) サツマスズメ
1♀, 西表島 船津, 5. VII. 1986 (川名美佐男) .
- 6 *T. electo* (LINNAEUS) シタベニスズメ
1♀, 与那国島, 26. VII. 1986 (川名美佐男) .
- 7 *Rhyucholoba acteae* (CRAMER) ミドリスズメ
1♀, 西表島 船津, 3. VII. 1986 (川名美佐男) .

ARCTIIDAE ヒトリガ科

- 1 *Creatonotos gangis* (LINNÆUS) クロスジヒトリ
1♀, 与那国島, 27. VII. 1986 (川名美佐男) : 同島初記録である.
- 2 *C. transiens* (WALKER) ハイイロヒトリ
1♂, 石垣島 番名岳, 10. VII. 1986 (川名美佐男) .
- 3 *Nyctemera adversata* (SCHALLER) モンシロモドキ
1♀, 石垣島 米原, 6. III. 1979 (松本和馬) .
1♀ 1♂, 石垣島 番名岳, 2. IV. 1986 (星野正博) .
2♀, 石垣島, 1. V. 1985 (小堀文彦) .

HYRSIDAE ヒトリモドキガ科

- 1 *Asota egens* (WALKER) キイロヒトリモドキ
 1♂, 石垣島 米原, 6. III. 1979 (松本和馬).
 2 exs. 西表島 船津, 5. VII. 1986 (川名美佐男).
 2 A. *heliconia* (LINNAEUS) シロスジヒトリモドキ
 1♀ 1♂, 石垣島 米原, 6. III. 1979 (松本和馬).
 1♀ 1♂, 西表島 米原, 27. III. 1987 (原 聖樹).
 1♀ 2♀♀, 西表島 宇奈利崎, 28. III. 1986 (星野正博).
 3♀♀ 3♂♂, 西表島 船津, 5. VII. 1986 (川名美佐男).
 1♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
 1♀, 西表島 上原, 23. VII. 1978 (南部敏明).
 1♂, 与那国島 祖内, 27. VII. 1986 (川名美佐男).

NOCTUIDAE ヤガ科

- 1 *Chasmina candida* (WALKER) シロガ
 1♀, 西表島 船津, 5. VII. 1986 (川名美佐男).
 2 *Gadirtha pulchra* BUTLER ヤエヤマキノカワガ
 1♂, 西表島 船津, 5. VII. 1986 (川名美佐男) : 従来の採集記録は10月のみである.
 3 *Chalaciope mygdon* (CRAMER) スジボソサンカクチバ
 1♂, 石垣島 番名岳, 29. VII. 1978 (南部敏明).
 4 *Mocis undata* (FABRICIUS) オオウンモンクチバ
 2♀♀, 西表島 白浜, 31. III. 1986 (星野正博).
 5 *Ercheia dubia* (BUTLER) シラホシモクメクチバ
 1♂, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
 6 *Erebis ephesperis* (HUBNER) オオトモエ
 - 1♀, 石垣島 番名岳, 10. VII. 1986 (川名美佐男).
 7 *Anomis metaxantha* (WALKER) オキナワオアカキリバ
 1♂, 西表島 大原, 27. III. 1987 (原 聖樹).
 1♀, 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
 8 *Hypocala biarcuata* WALKER ヒロオビキシタクチバ
 3 exs. 西表島 船津, 6. VII. 1986 (川名美佐男).
 9 *Aedia leucomelas* (LINNAEUS) ナカジロシタバ
 1♂, 与那国島 ウラブ, 28. VII. 1976 (川名美佐男) : おそらく同島初記録.
 10 *Hypena* sp. (H. *gonospilalis* WALKER) セクロモンアツバ によく似ているが、外横線は
 ほぼ直線で、亞外縁部に黒点列がある.
 1 ex. 西表島, 28. III. 1986 (星野正博).
 11 *Hydrillodes pacifica* OWADA マルバネウスグロアツバ
 3♀♀ 2♂♂, 与那国島, 27. VII. 1986 (川名美佐男) : 同島初記録である.
 12 *Sinarella* sp. ウスナミアツバ (日本産蛾類大図鑑 plate 226: 52)
 1♀ 1♂, 与那国島 祖内, 27. VII. 1986 (川名美佐男) : 同島初記録である。

【参考文献】

- 井上 寛ほか, 1982. 日本産蛾類大図鑑.
- 宮田 彰, 1983. 蛾類生態便覧(下): 903~1202.
- HIROSHI INOUE, 1986. TINEA 12 (7): 45-71

(いちかわ かずお 〒336 浦和市南本町2-7-11)

· · · · · · · · · · · ·

つくば市11~12月の蝶メモ

原 聖樹

1987年11~12月、茨城県つくば市大わしにおいて確認した蝶を記録する。①は新鮮、
◎は鮮度中間、●印は汚損個体を意味し、〈〉内は訪花植物である。

1. キチョウ
 1♂2♀, XI-6 ; 1♀●, XI-11 ; 1♂1♀①2♀, XI-12 ; 1♂◎1♀①〈アザミ sp.〉, XI-18 ; 1♂◎〈セイタカアワダチソウ〉2exs., XI-27.
2. モンキチョウ
 1♂●1♀, XI-6 ; 1♂, XI-27.
3. モンシロチョウ
 1ex., XI-6 ; 1♂●〈セイタカアワダチソウ〉, XI-11 ; 2exs., XI-12.
4. ベニシジミ
 1♂●, XI-6 ; 1♀●〈セイタカアワダチソウ〉, XI-9 ; 1♀①〈同〉, XI-11 ; 1♀●, エゾノギシギシ葉表に1・1卵, 同葉柄に1卵, XI-12 ; 1♀●, XI-18.
5. ヤマトシジミ
 2♂, XI-6 ; 1♂◎1♀①, XI-11 ; 1♂①1♂●, XI-9 ; 1♀, XI-12 ; 1♀①, XI-18 ; 1♂, XI-27.
6. ウラナミシジミ
 1♂●(12:30、晴。クズ葉上やアメリカセンダングサ枯花上に止まり、翅を陽に向けて半開し、時折飛び立ってまた近くのクズ葉上などに止まる動作を繰り返している=テリトリー) 1♂●, XI-11 ; 1♂①, XI-12 ; 1♂①〈セイタカアワダチソウ〉, XI-27.
7. ウラギンシジミ
 1♂, XI-9 ; 1ex., XI-27.
8. キタテハ
 1♀①〈セイタカアワダチソウ〉1♂, XI-9 ; 1♂①〈同〉, XI-11.
9. ヒメアカタテハ
 1ex.◎〈カントウタンボポ〉1ex.◎〈セイタカアワダチソウ〉1ex., XI-6 ; 1♂①〈同〉, XI-11 ; 1ex.◎〈同〉1ex., XI-9; 1ex.①〈アザミ sp.〉, ヨモギの葉を綴り合わせた巣内に若齢幼虫1ex.亜終齢幼虫2ex., XI-18 ; 1ex., XI-27.
10. アカタテハ
 1ex.①, XII-2.

(はら せいき 〒220-02 神奈川県津久井郡津久井町中野 617 北相寮)

松本和馬氏採集の石川・埼玉県産セセリチョウ

原 聖樹

石川・埼玉両県において記録の少ないセセリチョウ3種を松本和馬氏からいただいたので、そのデータ（未発表）を記録しておく。標本の保管・発表を筆者に一任された同氏に深謝する。

1. ホソバセセリ

1♂○, VII-8-1977, 金沢市湯涌 ; 1♂○, VII-12-1981, 湯涌 ; 1♂○, VII-15-1979, 石川県風吹峠～鶴来 ; 1♂○, VII-15-1979, 風吹峠 ; 3♂○, VII-16-1979, 能登小木.

2. ミヤマチャバネセセリ

1♂○, V-26-1978, 石川県山中町山中温泉 ; 1♂○, V-30-1979, 金沢市瀬領 ; 1♂○, VI-4-1981, 金沢市大平沢 ; 1♀○, VI-6-1981, 大平沢 ; 1♂○, VI-11-1981, 大平沢 ; 1♂●, VI-17-1981, 大平沢 ; 2♀○, VII-28-1979, 埼玉県上里町黛 ; 1♂○ 1♂○, IX-6-1977, 金沢市佐寄森町.

3. チャバネセセリ

1♂○, IX-10-1979, 石川県鶴来町白山.

《関連文献》

松本和馬・碓井徹(1977) ミヤマチャバネセセリの採集例 とくくりばち(36~39):8.

(はら せいき 〒220-02 神奈川県津久井郡津久井町中野 617 北相察)

寄居町桜沢でメスグロヒョウモンを採集

内田 正吉

少々古い記録であるが、筆者は寄居町桜沢中小前田において、メスグロヒョウモンを採集したので報告する。

採集個体：メスグロヒョウモン Damora sagana Fruhstorfer 1♀, 1♂

採集日：1985年6月6日

採集者：内田正吉

上記2個体とも、民家の庭に植えられて咲いていたムシリナデシコの花に飛来していたものである。

(うちだ まさよし 画369-12 寄居町桜沢 1805)

.....

埼玉県産ハネカクシ科分布資料〔4〕

小田 博

.....

今回新たに15種を記録、計146種となつたが、まだ相当数の追加が見込まれる。一部の種(No.132~136)を同定していただき、種々ご教示を賜った柴田泰利氏ならびに貴重な標本をご恵与下さった水室美芳氏に厚くお礼申し上げます。

《ヨツメハネカクシ亞科 OMALIINAE》

132. **Phloeonomus japonicus* Y. WATANABE, 1963
【秩父郡大滝村】入川林道、1頭、11. vi. 1984 [樹皮下].

《セスジハネカクシ亞科 OXYTELINAE》

133. キバネセスジハネカクシ *Oxytelus piceus* (LINNÉ, 1767)
【入間郡大井町】苗間、1頭、20. viii. 1981 [街灯]; 大井・弁天の森、1頭、31. vii. 1983 [街灯].

134. *チビクロセスジハネカクシ *Anotylus latiusculus* (KRAATZ, 1859)
【比企郡小川町】下里三区、1頭、14. iv. 1985.

135. *ルイスセスジハネカクシ *Anotylus lewisius* (SHARP, 1874)
【入間郡大井町】大井・弁天の森、1頭、23. x. 1982 [腐植質].

136. *シワバネセスジハネカクシ *Anotylus mimulus* (SHARP, 1874)
【富士見市】水子、1頭、22. iii. 1982 [湿地]; 上沢3丁目、1頭、22. iv. 1984; 1頭、29. iv. 1984 [いずれも糞]; 2頭、4. iii. 1985; 鶴瀬西3丁目、1頭、26. ii. 1985 [糞].
【入間郡大井町】大井字東原、2頭、12. v. 1983 [腐植質]; 大井・弁天の森、2頭、22. iv. 1985 [糞].
【秩父郡荒川村】若御子山、1頭、13. v. 1985.

《アリガタハネカクシ亞科 PAEDERINAE》

137. *アカバチビナガハネカクシ *Lathrobium kobense* SHARP, 1874
【飯能市】天覧山、1♂ 1♀、21. x. 1986 [湿地].

138. *キモンナガハネカクシ *Lebrathium cribicolle* (SHARP, 1889)
【秩父郡小鹿野町】河原沢、1♂、5. vi. 1988.

《ナガハネカクシ亞科 XANTHOLININAE》

139. *ツマキツヤナガハネカクシ *Nudobius apicipennis* SHARP, 1889
【秩父市】蓑山、1頭、28. viii. 1987 [伐採木樹皮下].
【秩父郡大滝村】入川林道、1頭、9. x. 1987 [伐採木樹皮下].

《ハネカクシ亜科 STAPHYLININAE》

140. *ヒラタカクシガシラハネカクシ *Philonthus depressipennis* SHARP, 1889
 【秩父郡横瀬町】二子山, 289, 20. viii. 1986 [倒木樹皮下]; 289, 23. ix. 1986 [倒木樹皮下]; 1♀, 14. ix. 1987 [倒木樹皮下].
 【秩父郡両神村】広河原付近, 1♂, 19. v. 1988 [伐採木樹皮下].
141. ムネスジゴガシラハネカクシ *Philonthus rutiliventris* (SHARP, 1874)
 【富士見市】上沢3丁目, 1♀, 27. iv. 1987 [腐植質].
142. *ヒラタホソコガシラハネカクシ *Gabrius subdepressus* (BERNHAUER, 1938)
 【秩父市】橋立渓谷, 488 799, 12. v. 1984 [渓流際落葉下].
 【秩父郡大滝村】入川林道, 588 499, 11. vi. 1984 [朽木樹皮下].
 【秩父郡荒川村】熊倉山, 1♂, 22. vi. 1987.
143. **Gabrius ophion* S_{METANA}, 1984
 【入間郡名栗村】炭谷入, 588 599, 4. v. 1987 [渓流際落葉下].
 ◆参照文献: S_{METANA}(1984), Pan-Pacif. Ent., 60(2):146.
144. **Gabrius yamanei* S_{METANA}, 1984
 【秩父郡荒川村】熊倉山, 1♂ 289, 5. v. 1986 [渓流際落葉下].
 ◆参照文献: S_{METANA}(1984), Pan-Pacif. Ent., 60(2):130.
145. *チャイロツヤムネハネカクシ *Quedius adustus* SHARP, 1889
 【入間郡名栗村】炭谷入, 1♂ 1♀, 4. v. 1987 [渓流際落葉下].
146. *アカアシオオメハネカクシ *Quedius praeditus* SHARP, 1889
 【秩父郡大滝村】三峰山, 1♂, 1. vii. 1984 [水室美芳氏採集].
 ◆分布資料〔2〕[本誌(50):834] No.100 ヤマトオオメハネカクシ3頭のうち、秩父郡荒川村熊倉山産(1. x. 1984 採集)の1♂は、交尾器を検鏡した結果、本種と判明したので訂正する。参考として、ヤマトオオメハネカクシと本種の雄交尾器の略図をつぎに示しておきたい。

ヤマトオオメハネカクシ雄交尾器 アカアシオオメハネカクシ雄交尾器

腹面



側面



腹面



側面



(おだ ひろし 画354 富士見市上沢 3-6-15)

クヌギカレハの寄生バエについて

石澤直也

1986年6月29日に、ヤマダカレハの幼虫2頭とともにクヌギカレハ *Dendrolimus undans flaveola* Motschusky の幼虫1頭を所沢市山口の雑木林から持ち帰り飼育したところ、7月1日にクヌギカレハの方が死亡、翌日ケース内に長さ3mm、径1.5mmのラグビー・ボールの様な形をした赤褐色の蛹が10個付いていた。蛹からは7月14日に小さなハエが羽化(蛹期13日)して來た。

寄生バエの専門家の九州大学教養部の島洪氏に同定を依頼したところ、下記の種と判明した。

Ceromya pruinosa Shima 1970 ♀

本種は島氏によってクヌギカレハに寄生することが発表されているとのことである。

また、1987年の春、当山口地区で前年に採集したゴマダラチョウを飼育していたところ、やはり、クヌギカレハに寄生していた前種とほぼ同じ形態をした蛹が、幼虫に1頭につき1個出現し、4月26日に成虫が羽化してきた。恐らく同一種と思われる。

今回同定して戴いた島氏には厚く感謝する次第です。

(いしざわ なおや 画359 所沢市山口 1644-15)

アスファルトへのオニヤンマの打腹行動

石澤直也

1988年9月18日午前10時45分頃、所沢市山口の住宅街のアスファルト道路上で、オニヤンマの雌がしきりに腹端をアスファルトに擦るように打ち付けているのが目撲された。道路の傍らは、幅1.5m、水面まで2m程ある排水路が通っており、その南側はクリやコナラの木立で、クズが覆って、当日は曇っていたので尚のこと薄暗い感じがした所であるが、このオニヤンマの雌はあきらかに産卵と同じような行動を数分続けて飛び去った。他に用事があったので、卵が産みつけられていたかは確認しなかったが、同行した小学3年の息子も、前に見たオニヤンマの産卵とそっくりだったと言っていることから、ほぼ産卵行動と見て間違いはないと思われる。トンボが自動車の屋根の上や、ピカピカ光るアスファルト道路や油田地帯の石油の溜まりで産卵行動をとっていたことは、外国では報告されているが、国内でも水気の全くない畠のビニールシートに産卵したという報告(トンボ科)はあるが、オニヤンマでの報告はない。珍しいことなので、あえて報告しておく。

(いしざわ なおや 画359 所沢市山口 1644-15)

.....

オオミドリシジミの産卵部位等

小野寺 博昭

.....

1. 採卵日及び場所.....1988年10月26日 午前10時～午後1時
埼玉県比企郡吉見町八丁湖

2. 産卵数.....(1) 1卵×39ヶ所 (79.6%) = 39卵 (60.9%)
(2) 2卵× 6ヶ所 (12.2%) = 12卵 (18.8%)
(3) 3卵× 3ヶ所 (6.1%) = 9卵 (14.1%)
(4) 4卵× 1ヶ所 (2.1%) = 4卵 (6.2%)

計 49ヶ所 64卵

3. 産卵部位.....(1) 極めて細い枝 (直径1.30～3.95ミリ) の分岐.....31ヶ所(70.4%)
(2) 細い枝 (直径4.20～4.95ミリ) の樹皮, 陥凹部及び分岐 8ヶ所(18.2%)
(3) 直径5ミリ以上の枝の樹皮, 分岐..... 5ヶ所(11.4%)

オオミドリシジミが産卵していたコナラの枝の直径 (単位; mm)									
(1)	1.30	2.05	3.15	4.20	5.65		7.20	8.95	9.90
(2)	1.50	2.20	3.15	4.30			7.55		
(3)	1.65	2.25	3.30	4.30					
(4)	1.75	2.30	3.30	4.30					
(5)	1.80	2.45	3.40	4.60					
(6)	1.85	2.50	3.60	4.80					
(7)	1.85	2.65	3.65	4.80					
(8)		2.65	3.85	4.95					
(9)		2.70	3.95						
(10)		2.75							
(11)		2.80							
(12)		2.85							
(13)		2.85							
(14)		2.85							
(15)		2.95							

※上の表に示したように直径5mmを超える枝には殆ど産卵されていない。
オオミドリシジミの採卵をするなら3mm前後の枝を集中的に探す方が成績が期待出来そうだ。

以上

(おのでら ひろあき 〒363 桶川市泉 2-19-50～4-119)

.....

オオムラサキの森周辺の蝶

杉田正之

.....

少々古い記録になるが、1987年4月から7月における、[嵐山町・オオムラサキの森]周辺における若干の蝶について報告する。

4月19日

ミヤマセセリ	1♂ 2♀	2目撃	キチョウ(秋型)	4♀
ベニシジミ	2♂ 2♀	1目撃	スジグロシロチョウ	2♂ 2♀ 1目撃
ツバメシジミ	1♀		ツマキチョウ	2♂
ルリシジミ	1♀		モンキチョウ	1♂
コツバメ	1♀		キタテハ	1♂
トラフシジミ		1目撃	ルリタテハ	1目撃
アゲハチョウ		1目撃		

5月9日

ダイミョウセセリ		1目撃	キチョウ(秋型)	1目撃
コチャバネセセリ	1♀	1目撃	コミスジ	1目撃
ヒメウラナミジャノメ	5♂		コジャノメ	3♀ 1目撃
クロヒカゲ		2目撃		

5月7日

ウスバシロチョウ	2♂
----------	----

5月19日

ダイミョウセセリ	3♂	1目撃	コミスジ	1♂
コチャバネセセリ	1♀		コジャノメ	1♂ 3♀
ヤマトシジミ	1♀		ヒメウラナミジャノメ	5♂
ヒカゲチョウ	1♀		サトキマダラヒカゲ	1目撃

5月31日

ウラゴマダラシジミ	1♀
-----------	----

6月9日

コチャバネセセリ	1♂ 1♀	スジグロシロチョウ	2♂ 3♀
ダイミョウセセリ	4♀	モンシロチョウ	6♂ 1♀
ヒメキマダラセセリ	1♂	ヒメジャノメ	1♂
ツバメシジミ	1♂ 1♀	サトキマダラヒカゲ	1♂ 2♀

ルリシジミ	1♂ 1♀	ヒカゲチョウ	1♀
ミズイロオナガシジミ	2 (不明)	ゴイシシジミ	1♀
ウラナミアカシジミ	1 (不明)	オオミドリシジミ	1♂ 1♀ (交尾)
6月19日			
オオミドリシジミ	1♂	ジャコウアゲハ	1♀
6月29日			
ダイミョウセセリ	1♂	サトキマダラヒカゲ	1♀ 4目撃
ムラサキシジミ	1♀	ヒカゲチョウ	1♂ 3目撃
スミナガシ	1目撃	スジグロシロチョウ	1♂
ルリタテハ	1目撃		
7月9日			
オオチャバネセセリ	多数	サトキマダラヒカゲ	2♀ 1目撃
イチモンジセセリ	多数	ヒカゲチョウ	1♀
ムラサキシジミ	1♀	ヒメウラナミジャノメ	2♂ 1♀ 1目撃
ゴイシシジミ	1♂ 1♀	キチョウ	1♀
ミドリヒョウモン	1♂		
7月29日			
オオムラサキ	2♂ 1♀	カラスアゲハ	1♂

以上39種類が確認されたが、1988年には活動センター前の見本林のカラタチ、イヌザンショ、クスノキでアオスジアゲハ、クロアゲハ、なども確認されているので今後もデータのはっきりしているものは追加記録として報告するつもりでいる。おそらく50種類は超えるものと思われる。

《付録》スジクワガタの低地での記録は珍しいとのことなので報告しておく。

1987年6月8日 2♂ 6月9日 1♀ (採集地: 嵐山町菅谷)

(すぎたまさゆき 画355-02 比企郡嵐山町菅谷 87-3)

熊谷市でジャコウアゲハの採集とアサギマダラの目撃

吉田文作

市内で、以前はたくさん見かけたジャコウアゲハも、年々少なくなってきた。熊谷駅の東南約300mの所に、万平公園（約1haの近隣公園）があるが、この公園内の石碑でジャコウアゲハの蛹のカラを見つけ、こんな街の中でも生息できるものかと感心した。公園内のどこかにウマノスズクサがあり発生したと思われるので捜したが、食草の確認はできなかった。

なお、日本野鳥の会々員 浜島義雄氏（市内石原在住）より、自宅付近でアサギマダラを目撃したとの連絡があり、了解していただいたので、合わせて報告しておきます。

◎ ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* Klug の採集記録

- ・熊谷市三ヶ尻（観音山）

- 1987年7月26日 5頭採集

- ・熊谷市楊井

- 1987年7月27日 3頭採集（隣接の森林公園内には多数生息）

- ・熊谷市万平町

- 1987年5月8日 蛹のカラ確認

◎ アサギマダラ *Parantica sita niphonica* Moore の目撃記録

目撃場所：熊谷市石原

目撃日：1988年10月10日

目撃者：浜島義雄（日本野鳥の会々員）

（よしだ ぶんさく 画360 熊谷市三ヶ尻2849-1）

===== ヒサマツハチモドキハナアブを寄居町にて採集 =====

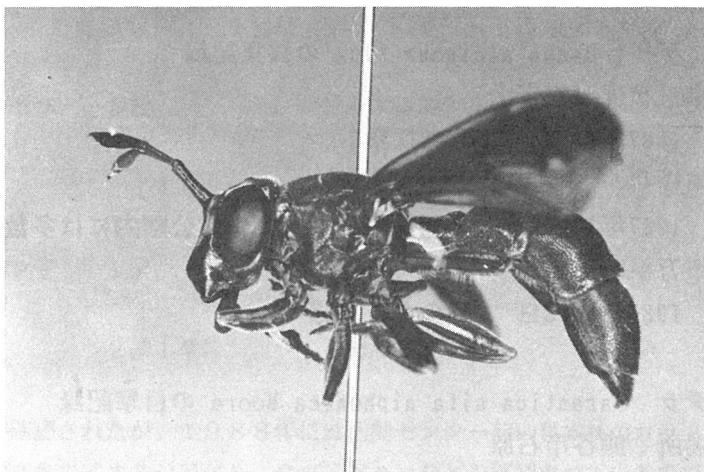
内田 正吉

筆者は寄居町中小前田において、ヒサマツハチモドキハナアブを採集しているので報告する。これは、毛呂山町（玉木、1982）に次ぐ県内2番目の記録と思われる。採集データは次のとおり。

採集個体 ヒサマツハチモドキハナアブ *Hisamatsumyia japonica Shiraki*
1♀ (体長: 約14mm, 翅長: 約12mm)

採集日 22-V-1983

採集及び標本保管者 内田 正吉



《採集された個体》

本個体は、自宅の庭に植えてあるピラカンサの花に訪花していたものである。採集時には、その花に2個体が見られたのだが、このような稀種であるとはつゆ知らず、1個体を採集したにとどまった。なお、1985年5月27日にも、自宅のピラカンサの花にて本種と思われる1個体を目撃している。

未筆ながら、本種について同定して下さると共に写真撮影および御教示を頂いた玉木長寿氏に、厚くお礼申し上げる。

《参考文献》

玉木長寿(1982). ヒサマツハチモドキハナアブを埼玉県毛呂山町において採集
昆虫と自然, 17(13):34

(うちだまさよし 画369-12 大里郡寄居町大字桜沢1505)

見沼地域昆虫調査 1年目の様子

会をあげて取り組んだ見沼地域昆虫調査ですが、1年目の様子を、各地区の担当者にお願いして、自由に書いてもらいました。

☆ UFOを見た人もでた大宮地区 ☆

竹内 崇夫

アカガネオサムシを見つけられなくて、何となく、ソソと皆さんについていくだけの大宮ですが、いつも10人以上の会員がとにかく集まって、真面目に、騒がしく調査に参加してきました。

見沼用水東縁から900m程西へ離れた調査地点は、抜群にスバラシイ所で、間に大宮市営霊園がドッカリと広がり、その南には遙かな田園風景がどこまでも続きます。そして、斜面林がそれを囲むように南北へ続く、そんな環境の調査地です。

昨年の調査は、大半が土曜の夜の灯火採集だけに終始し、翌日曜日のハイキング採集は、ほとんど雨で中止となりました。

夜間採集の会場は、霊園南西部の柵沿いの人気のない路上で、西側に続く林内の昆虫をおびき出す格好で設置されました。主会場は碓井スクリーンで、その300m南には萩原スクリーンが常設され、時折加藤スクリーンも登場して活躍してくれたのです。ところが、この加藤スクリーンに吊り下げられたライトは、とにかく強烈で、10分間もこの前にいると、眼底の奥のズイの方までしびれてくる気がします。メインスクリーンから気晴らしにやって来た連中は、たいてい即座に戻ってしまいました。オーナーの加藤氏でさえめったに寄り付きません。気のせいいか、昆虫も近くまで飛んで来てもUターンするか、少し離れた樹木や地面にランディングしてしまうのです。加藤氏は、もっぱらこれを拾い集めていました。ナルホド！こんな処に設計意図があったのですか！！

このライトが原因だったと、小生全く考えておりませんが、この後奇妙な出来事があったのです。

個人の名誉のために仮名を使いますが、9時を回り、終幕まで小一時間という頃です。突然、はぎわら氏が天上を指さして、

はぎわら氏 「アッ！ UFOだ。ホラッ！ ホラ、動いている！ ……(静けさ) ……
アッ！ また動いた！」

こぼり氏 「エッ！ ウソだ～～。オレ、UFOって見たことがないんだア。
アッ！ 動いたッ。ホントだ～。」

えむら氏 「エッ！ ホント？？ ドコ？ ドコッ？」

てな具合で、全員がUFOを目撃させていただきました。しかし、しばらく眺めているうちに、どうもおかしい。動いたUFOが、いつも同じ処に戻っているではありませんか。賢明な諸氏は、しだいにその正体が单なる星で、自分の頭が揺れるたびに、星が動いたように見えただけと気付いたのです。靈園の魔物のイタズラか、長年犠牲にしてきた昆虫達のウラミによってか、集団錯覚をおこしてしまったのです。

でも、ほんの一瞬でしたが、死ぬ前に一度は見たかったUFOを見れたと、感激に打ち震える事ができたのでした。

会員の皆さん。今年もやります。大宮へお越しください。

☆ 見沼地域昆虫調査、浦和地区の動向 ☆

巣瀬 司

浦和地区では4月から10月まで、予定通り毎月1回夜間採集を実施しました。ライト・トラップは当初、鷺神社の林縁2カ所に設置しましたが、休耕田の蛾もおもしろそうなので、6月からは用水東縁を渡って休耕田側にトラップを1つ移しました。大宮地区よりは少ないようですが、蛾や甲虫など、それなりに採れています。

昼の調査は他地区と同様、雨にたたられほとんど実施できませんでしたが、従来までの記録とあわせると浦和地区での蝶は42種が確認されました。しかしながら、ツマグロキチョウやイチモンジチョウ、テングチョウ、ウラナミアカシジミ、オオミドリシジミなどが採れていません。

林内、林縁、土手、休耕田といった環境別の歩行虫相、蝶相の比較調査は、4月から始めこの冬も続けました。12月になってもトラップに落ちているゴミムシがいるため、中断するわけにはいかないのです。4月、5月には休耕田で、再びアカガネオサムシが採れていることでしょう

☆ 見沼調査川口地区へのご案内 ☆

築比地 秀夫

川口地区、見沼自然の家（旧 会田家）は、正確なところはわからないが、築後120年以上は経っているとか、江戸時代に代用水の水を利用して紙漉きをしていましたそうです。

近年、廃屋だったものを県が買い取り、川口市で整備し、野鳥の会で運営管理をしています。家の周辺はアシ原に囲まれていますが、元々は水田だったので、休耕田が20数年にしてアシ原に変遷したものです。

休日になると、野鳥の会のメンバーが双眼鏡片手にバードウォッチングをしており、いくら調査とはいえ、小人数で網を振り回すのはショットはばかられます、一人でも多く調査に参加されますことを望んでおります。

なお、夜間採集は、電気をふんだんに使えるので大っぴらにやっております。

寄せ蛾記 54号 目次

樋田 光	：埼玉県産クロツバメシジミの斑紋について	958
利根川 雅実	：冬のムラサキシジミ	960
	【訂正】	960
巣瀬 司	：浦和市の見沼たんぼにおける蝶	961
牧林 功	：所沢市三ヶ島産膜翅類	966
市川 和夫	：八重山列島の蛾31種の採集記録	969
原 聖樹	：つくば市11～12月の蝶メモ	972
原 聖樹	：松本和馬氏採集の石川・埼玉県産セセリチョウ	973
内田正吉	：寄居町桜沢でメスグロヒョウモン	973
小田 博	：埼玉県産ハネカクシ科分布資料〔4〕	974
石澤直也	：クヌギカレハの寄生バエについて	976
石澤直也	：アスファルトへのオニヤンマの打腹行動	976
小野寺 博昭	：オオミドリシジミの産卵部位等	977
杉田正之	：オオムラサキの森周辺の蝶	978
吉田文作	：熊谷市でジャコウアゲハの採集とアサギマダラの目撃	980
内田正吉	：ヒサマツハチモドキハナアブを寄居町にて採集	981
	見沼地域昆虫調査 1年目の様子	982
	見沼地域昆虫調査 2年目のご案内	984
	埼玉昆虫談話会 ミドリシジミ委員会の設置について	985
編集子	：【文献紹介】	986
	会報	988
	編集後記	989